

Weekly

合併号! 情報2週間分 三谷幸喜の最新作、チケット先行!

# ぴあ

## 8.9/16

毎週木曜刊

350円

**全貌!「トランスフォーマー」**

話題の娯楽作。ここが“スカッ”とするんです

**またまたオーシャンズ!**

「オーシャンズ13」をワイド版で特集

**木村拓哉主演「HERO」連載!**

伝説的ドラマの誕生と復活

**ブルーマン、アンタって何者?**

NYの大ヒット舞台が初来日!

**夏は“ジャパネスク・ライフ”で**

古き良き、そしてエコな夏快適生活のススメ

**ぴあ スーパーリザーブシート**

Cocco

ザ・クロマニヨンズ

「恐れを知らぬ川上音二郎一座」

BLUE MAN GROUP IN TOKYO

SATURDAY NIGHT R&R SHOW Vol.3

**ぴあ スペシャルプレビュー**

「ファンタスティック・フォー:

銀河の危機」

今から間に合う

「夏休みノープラン」のアナタ、今から間に合う、夏休みの過ごし方教えます

# 夏遊びのススメ



pia.jp/t

電子チケット  
ぴあ

0570-02-9999

PIA 35<sup>th</sup> Anniversary



# 和傘

## 雨

の東京ミッドタウン界隈で最近、和傘をさしている方がよく見かける。そんな和傘族の中でも、一際、周囲の目を釘付けにする紳士が……。青筋をピンと伸ばして、流れるように雑踏の街をウオーキングしている。よく見ると、デニーク更家さんじゃないですか？

「和傘をさしていると、最近は何い連中に、どこで買ったの？」と聞かれるよ。洋傘と違って、雅な美しさや和傘にはあるし……それにデニーク傘と違って和傘は竹と和紙でできるところがうけているみたいだね」とデニークさん。

小学校の頃は、番傘をさして通学したこともあったとか。

「あの頃のことかどうにも忘れられなくて購入したんだ。改めて使い始

めて驚いた！傘って言うより芸術品だね。細部までこだわりの手抜きがされているって、わかるな。この前、雨の日にこの傘をさしたんだけど……いいよ。雨の日がすっかり楽しみに変わった。」

多少の雨なら楽しめたささな、雨に濡れることを羨むというデニークさんに、傘をさしたいと思うと、その秘密のひとつが、雨音。和傘にあたる雨音を久々に聞いて、感動したそうだ。デジタルな都心に響く、モノラルの極みとも言える調べ。心をそっと涼へと誘う。

「最近の日本の男性って、少しデジタル過ぎて、疲れてるよね。青筋が丸まっているし。和傘を持つと、癒されるから。というか、和傘って猫背でささみつともないわけ。正しいウオーキングをしないと、単に街中で自立

つ人になっちゃうよ。」

和傘の魅力のひとつは、ここにある。正しく歩くと、和傘がそれを教える。近頃、誰もが気付きはじめ、正しく歩くこと、健康との非常に深い関係。デニーク更家さんが長年探求し続けてきた「どれだけ歩くかの量や時間の問題ではなく、どう歩くかの質の問題」とも和傘はリンクしているのだ。

「歩み」という行為を、単に移動するための手段として捉えるのではなく、「まず周囲を快適に、次に健康で美しく、そして適度な力を高める」といった新鮮な目的へと進化させて欲しい」と歩くことの魅力を伝道するデニークさんが見つけた、和傘の意外な魅力。見た目の雅さ、雨音……。そして、心の涼と歩みの美へ、ともなう、和傘の魅力をアナタも味わってみてはいかがだろうか。



特選番傘(黒) 2万4150円

通常の番傘に比べて、料に限りすでた最高の竹と和紙を使った逸品。ちなみに日常使の和傘には裏面に油を引くことで防水加工している。これは古の時代からの方法であり、これを塗ると時間の経過と共に和紙が薄黄色に色づく。これを「結れる」と言う。問2)



蛇の目傘(黒地)傘 2万1000円

蛇の目は番傘より細身の軽く、結露も減るので雨に濡れにくい。結露は蛇の目傘を連想することが多いから、2万1000円から1万円ほどにまで下がった。昔の和傘は、元々は上から見た目が蛇の目に似ているという説が有力。問2)



番傘(白) 1万6750円

昭和に入ってから戦前まで日常生活で使われていた和傘が、蛇の目が絹身で美しい女性的な和傘であるのに対して、番傘は骨太で、ガッツリと丈夫にできていて、日本男子の業科で独特の涼さを具現化したようなデザインとなっている。問2)

羽二重(黒) 3万6750円

羽二重は、和紙の上に薄い絹を重ねた羽二重生地で作る。美しさと丈夫さを兼ね備えた蛇の目の最高級品。傘の上には高級素材が施されており、閉じた状態でも非常に美しい。雨に濡れると、羽二重の絹が鮮やかに発色し、非常に情緒ある姿を演出。問2)

でーく・さらい  
和傘で「和傘」が動き出した。和傘は、美しさと丈夫さを兼ね備えた蛇の目の最高級品。傘の上には高級素材が施されており、閉じた状態でも非常に美しい。雨に濡れると、羽二重の絹が鮮やかに発色し、非常に情緒ある姿を演出。問2)

**蛇の目(ジャのめ)って、なんじゃ？**  
北原白秋の「雨雨ふれればあさんが蛇の目でお迎えうらしいな」の童謡一節も幼きとき口ずさんだ曲。その蛇の目(傘)はもともと女性用の傘とされてきたが、昨今では海外の方などが「オシャレな傘」として、さすようになっている。骨太の傘よりもオシャレさを重んじた日本男性も最近では、愛用していることが多いようだ。

**東京ミッドタウン 夏休情報**  
2024年6月14日(土) 15:00～17:00  
「この夏、和傘の魅力を、ぜひ体験してみよう。和傘の歴史や作り方を学び、自分だけの和傘を作ろう。和傘の魅力を、ぜひ体験してみよう。」



「雨の中を和傘をさし、道内に入る。和傘をささると、雨音が心地よく響いてくる。和傘の歴史や作り方を学び、自分だけの和傘を作ろう。和傘の魅力を、ぜひ体験してみよう。」



**和傘ウォーキング**  
和傘を持つときは、刀を握るような、傘の柄を小指で握る。そして上を通さず、下を通さず、刀を握るときとくくらの胸の辺りで持ち手を固定する。男性ならやや股に股で歩く。歩幅はあまり広くないこと。そして洋傘の場合は股より少し前でした方がよいけど、和傘の場合は常に傘の中心に股があるような意識でいること。和傘で少し歩みがあるから、そうして歩いた方が楽にならない。